教育プログラム　プランニングシート

テーマ	キリンの本当の「かお」って？～変な体つきの動物のなぜ～	担当者	奥野　伊藤
目標	今までのキリンのイメージとの違いを感じてもらい観察を通じて人（自分）との共通点に気づき「多様性と共通性」について学んでもらう		
対象	小学校全学年　　参考となる単元：　理科３年「動物のすみか」、理科６年「生物と地球環境」、国語２年「かんさつしたことを書こう」、国語１「さとうとしお」等		

	場面	問題解決的展開	教育者(飼育員)の支援	考えの表現	子どもの学習活動	指導の視点 個 協 資
学校にて	事前学習	①テーマの導入	**学習目標（学ぶこと）　「キリンの本当の体のとくちょうをさぐって、自分と比べてみよう」を教育者と子どもたちとで確認する**			
			写真や図などは見せず、「角が何本」などの細かい点にはふれずイメージのまま キリンを描いてもらう。　・実際に見たことある？・どんな大きさ？など 今までの経験を思い起こすような声かけをする。	談話 **描画記述①**	「動物園でみたことある」　「首ながかった」	個　協
		②予想や仮設	事前に描いたキリンを思い起こし、違いを認識させる。 ・みんなの描いたキリンと似た模様のキリンはいるかな ・みんなの描いたキリンと違いはあるかな	談話 **記述紙②**	自分と友達の描いたキリンの違う点、気づいた点について言ってもらう 「足がながい」　「背が高い」	個　協
			・みんなの好きなご飯はなに？いつも何を食べている？ ・キリンたちはいつも何を食べているのかな？ お米、ごはんなどの主食が会話の中ででたら、キリンが主に食べているものについて話をする。	談話	キリンと自分（人）とを比べるきっかけとなる声かけ 「〇〇が好き」「朝ごはんに〇〇を食べた」「草を」食べている」 ➡　どんなところにはえているかな？	個　協
		③課題の見出し	キリンがエサを食べているところを近くで見られることを伝えながらイメージしていたキリンとの違う点についてふれて、観察の時にどこに注目したいかを確かめる。 （近くで見たことがあるかなど経験したことも確かめながらやる）	談話 **記述紙③**	「顔を近くでみたい。」　「どうやって食べるか見たい」 自分はキリンの〇〇を見たい！	個　協
動物園にて	観察学習	④観察と記録	注目したい点についてふれながら、人と他種の動物と比べられるような会話も含めキリンが採食している様子を一緒に観察をする。 ・どうやってご飯を食べているかな。（舌と上唇の使い方を自分と対比） ・口の中はどうなっているのかな。（歯という共通点、上顎前歯がないという違い） ・エランドは、この高さまで届かない（他種との違い）	観察記録 **記述紙④** **描画記述紙⑤**	自分の注目した点について観察しながら、他の生徒と気づいた点などの共有して、あらためて絵を描くときにどのように描くか考えてもらう。	個　協　資
	事後学習	⑤結果の考察	クループや近くの人と近くでみて想像と違った点などを簡単に対話のなかで話をしてもらう。その発見を踏まえて絵を描いてもらい、事前に描いた絵とを比べて発見した内容を確かめる。	談話 **記述紙⑥**	「舌を使って食べていた」「まつ毛が長かった」	個　協
		⑥知識の活用	アフリカ園には、シマウマやサイなどキリンと同じく草を食べている動物がいることを伝える。 どのような共通点があり、違いがあるかを考えながら観察できるような きっかけづくりとなるような話をする。 さらに知りたいこと、調べたいことを尋ねる	談話 **記述紙⑦**	今回の学習で気づいた共通点や違いを他の動物を観察するときに 役立てながら園内を散策してもらう。 こんどはこれを観察したい　調べてみたい	個　協